

たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校 横山文朗

ロングウォーク

前任校で3泊4日の長期宿泊体験を実施することになりました。活動メニューを相談していて、子どもたちが達成感を味わえることがしたいと考え、長い距離を歩いて山のとっぺんまで歩くのはどうだろうか先生方に提案しました。

吉備少年自然の家の先生が何度も試走し、最後は歩いてロングウォークのコースを作ってくれました。1コースだと隊列が長くなりすぎるので、2コースに分かれて山の麓で合流することにしました。

午前7時30分に自然の家を出発し、Aグループは山を下り田畑が続く道を歩きました。Bグループは山の中を歩き続けました。私は子どもたちのお弁当を運ぶ役で、途中、棄権する子どもを乗せる役も引き受けていました。歩き始めて1キロと行かない内に一人の男の子が列から遅れ出しました。しかし、先生はその子の後を少し距離をおいて歩いているだけで付き添ってはいません。それは、事前の打ち合わせで、声をかけると弱音を吐いてしまうので、子どもたちが頑張っているうちは見守るだけにしよう決めていたからです。途中何度も休憩を取ったり、吉備中央町立豊野小学校のトイレを借りたりして、正午過ぎにやっと大平山の麓にたどり着きました。しばらく待つと、山の中を歩いてきたBグループも到着し、天福寺で最後のトイレ休憩をとって、いよいよ山頂へのアタックです。大平山は標高697メートルの吉備高原で最も高い山で、山頂までの道は急坂で、長い距離を歩いてきた子どもたちは最後の力を振り絞って歩きました。一番疲れていたのはM先生で、真っ赤な顔をしてほほをふくらませ、ぜいぜいとあえぎながら歩いています。この先生は普段から疲れが表情に出やすく、ふてくされたような顔つきは、もう彼女の限界に近いことの表れです。

山頂に到着したのは午後2時30分で、一人の棄権もなく全員が自分の力で山頂にたどり着くことができました。山頂からは、有漢町の谷間の向こうに中国山地がそびえ、蒜山や大山を眺望することもできました。皆、満足そうな顔で、励まし合ってきた仲間と遅い昼食をとりました。帰りは麓で待っていてくれたバスに乗り宿舎へ戻ったのですが、思い出に残るロングウォークになりました。

来週月曜日と火曜日に4年生が山の学習に行きます。ウォークラリーや暗夜行路などを行いますが、友だちと励まし合って、充実感と達成感にひたることのできる山の学習にしてほしいと願っています。

